

産業遺産を活用した広域連携及び多様な主体の連携による地域活性化方策に関する調査

1. 調査実施主体

国土交通省九州地方整備局九州圏広域地方計画推進室、福岡県、鹿児島県
経済産業省九州経済産業局企画課・産業課

2. 調査の概要

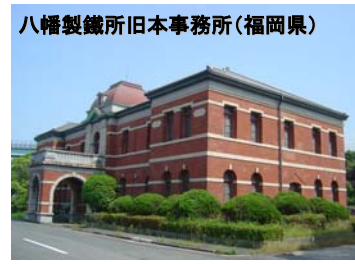
九州・山口地域にはUNESCOの世界遺産暫定一覧表に記載された近代化産業遺産群があり、圏域が一体となった広域的な地域活性化を図っていくためには、これらの貴重な資源を活用することが重要である。

本調査は、これらの産業遺産を活かして、九州圏全体で整合がとれたまちづくり・景観形成等を進めるための広域的指針の策定、海外における先進的な民間活力の導入、これらを促進するための経済効果の算出、多様な主体の広域的な連携組織の設置等のための検討を行うものである。

3. 調査内容の詳細

新たな時代のより一体的な九州圏の形成に向けた官民一体の先進的取組

①産業遺産を活かした地域活性化への民間活力導入に関する調査 (経済産業省)	②官民の事業展開による経済効果に関する調査 (福岡県)	③地域間連携や多様な主体の連携のための仕組みづくりに関する調査 (鹿児島県)	④産業遺産を活かしたまちづくり・景観形成施策の展開に関する調査 (鹿児島県)
①海外先進事例の文献調査・分析、国内有識者や企業ヒアリングによる産業遺産の保全・活用に関する民間活力の導入方策の検討 ②地域の実情に照らした民間による産業遺産の保全・活用の可能性及び産業遺産を活かした街づくり等の検討	①産業遺産の保全・活用、商店街・沿道・公園整備など地域インフラ整備の事業例選定及び経済効果算出 ②アーカイブセンター等の展示・案内施設整備の事業例選定及び経済効果算出 ③世界遺産ルートの確立及び情報発信の事業戦略検討及び経済効果算出	①行政・企業・NPO等の各主体間の連携、広域連携のための体制づくり ②産業遺産の保全・管理、まちづくり、景観形成、普及啓発へのNPO・景観整備機構等の参画 ③産業遺産の効果的な解説(インタープリテーション)のための人材育成へのNPO等の参画	①歴史まちづくり法に関連する歴史的環境形成総合支援事業等による街なみ・公園・案内施設等整備の基礎となる広域ビジョンづくり ②景観法等に基づく景観形成(港湾・鉄道等一体的景観整備、遺産周辺建造物の意匠・色彩・高度・広告物規制・誘導等)の基礎となる広域デザインコンセプトづくり



4. 成果等について

- 産業遺産を活かした地域活性化への民間活力導入やまちづくり・景観形成施策など、広域的な施策展開のためのグランドデザインの獲得!
- 具体的事業例や経済波及効果のプレゼンテーションにより→企業やNPO等の取組が促進!
- 広域的な地域活性化のモデルが得られ、九州の他地域や全国の他ブロックにも応用可能!